

地方自治体における情報システム（生活保護）の 標準仕様書改訂に向けた調査研究等一式

第4回内部帳票WT（2023年10月27日） 事務局資料



Build Beyond As One.

第4回内部帳票WT 次第

<日時・場所>

令和5年10月27日（金） 11:00～12:00 オンライン開催（Zoom）

<議題>

1. 第4回内部帳票WTの目的
2. 標準化の是非についての議論

<配布資料>

資料1 第4回内部帳票WT 事務局資料（本紙）

1.第4回内部帳票WTの目的

1.1 第4回内部帳票WTの目的

- 第4回内部帳票WTの目的は、第4回内部帳票WT事前アンケートにおいて、標準化が適さないと意見があった帳票について、標準化の是非を議論し、決定することです。
- 本日の議論においては、標準化を行う、標準化を行わない、全国意見照会に標準化の是非を確認する、のいずれかを結論として出すために議論します。

本WTの目的

- ✓ 本WTでは、「ケース記録票」、「扶養義務者台帳」、「一時扶助決定調書」、「保護決定調書」、「生活扶助基準額計算根拠調書」について、①-③いずれかの結論を出すために議論します。
 - ① 標準化を行う
 - ② 標準化を行わない
 - ③ 本WTで結論を出さず、標準化の是非を全国意見照会で確認する

第4回内部帳票WT事前アンケート取りまとめ表

No	帳票名	横浜市	柏市	東大阪市	横須賀市	泉大津市	町田市	三鷹市	新宿区
13	面接記録票	○	○	○	○	○	○	○	○
14	ケース記録票	×	○	×	○	○	×	○	○
38	扶養義務者台帳	○	○	×	○	○	○	○	○
44	一時扶助決定調書	×	○	○	○	○	○	○	○
50	保護決定調書	×	○	○	○	○	○	○	○
55	要否判定調書	○	○	○	○	○	○	○	○
60	生活扶助基準額計算根拠調書	○	○	×	○	○	○	○	○
61	被保護世帯票	○	○	○	○	○	○	○	○
179	援助方針記録票	○	○	○	○	○	○	○	○

2.標準化の是非についての議論

2.1 標準化の是非についての議論

- 議論の進め方については、事前アンケートの回答内容を確認した上で、標準化すべき水準と必要な要素の観点で皆様と議論を行います。
- その際、どの水準の帳票が求められているのかについて、共通認識を持ちながら議論するため、帳票の標準化のレベルを設定しています。

標準化の是非についての議論の進め方

① 回答内容の確認

- ✓ 対象帳票について、自治体ごとの○と回答した理由、×と回答した理由を確認します。
- ✓ 回答に合わせて、現在の事務局の帳票レイアウトは、右記のレベルのいずれに該当するかを伺います。

② 標準化水準のすり合わせ

- ✓ 標準化に当たって、どのレベルに到達することが必要か意見を伺います。
- ✓ 現状どの点がボトルネックなのか確認します。

③ 必要な要素の議論

- ✓ 内部帳票の標準化水準を満たすために、何を満たすことが必要か、満たすことは可能かを議論します。

帳票の標準化レベル

レベル1

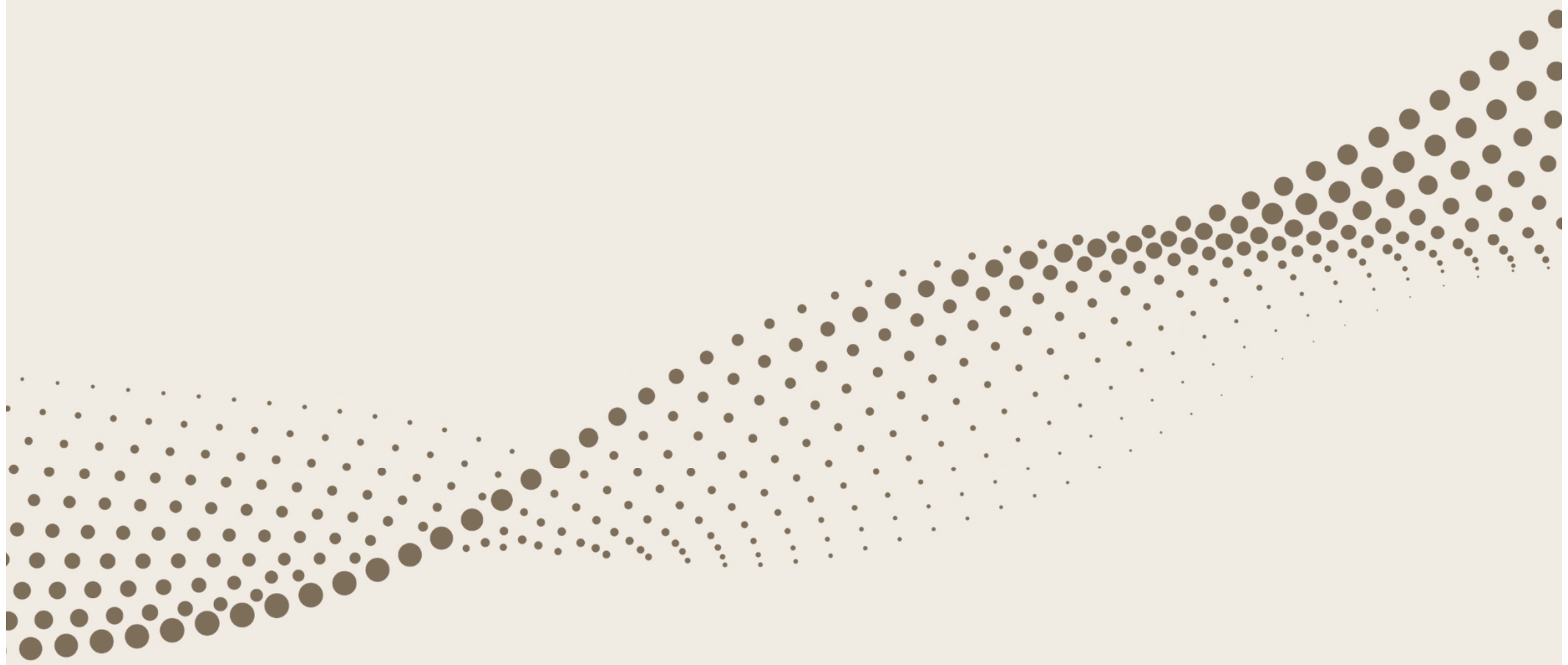
帳票における最低限の機能を満たした帳票
(各ベンダサンプルの共通項を抽出したもの)

レベル2

帳票における最低限の機能+
WTにおける意見を反映した帳票

レベル3

各自治体の運用を完全にカバーした帳票



アビーム、ABeam及びそのロゴは、アビームコンサルティング株式会社の日本その他の国における登録商標です。
本文に記載されている会社名及び製品名は各社の商号、商標又は登録商標です。©2023 ABeam Consulting Ltd.



Build Beyond As One.